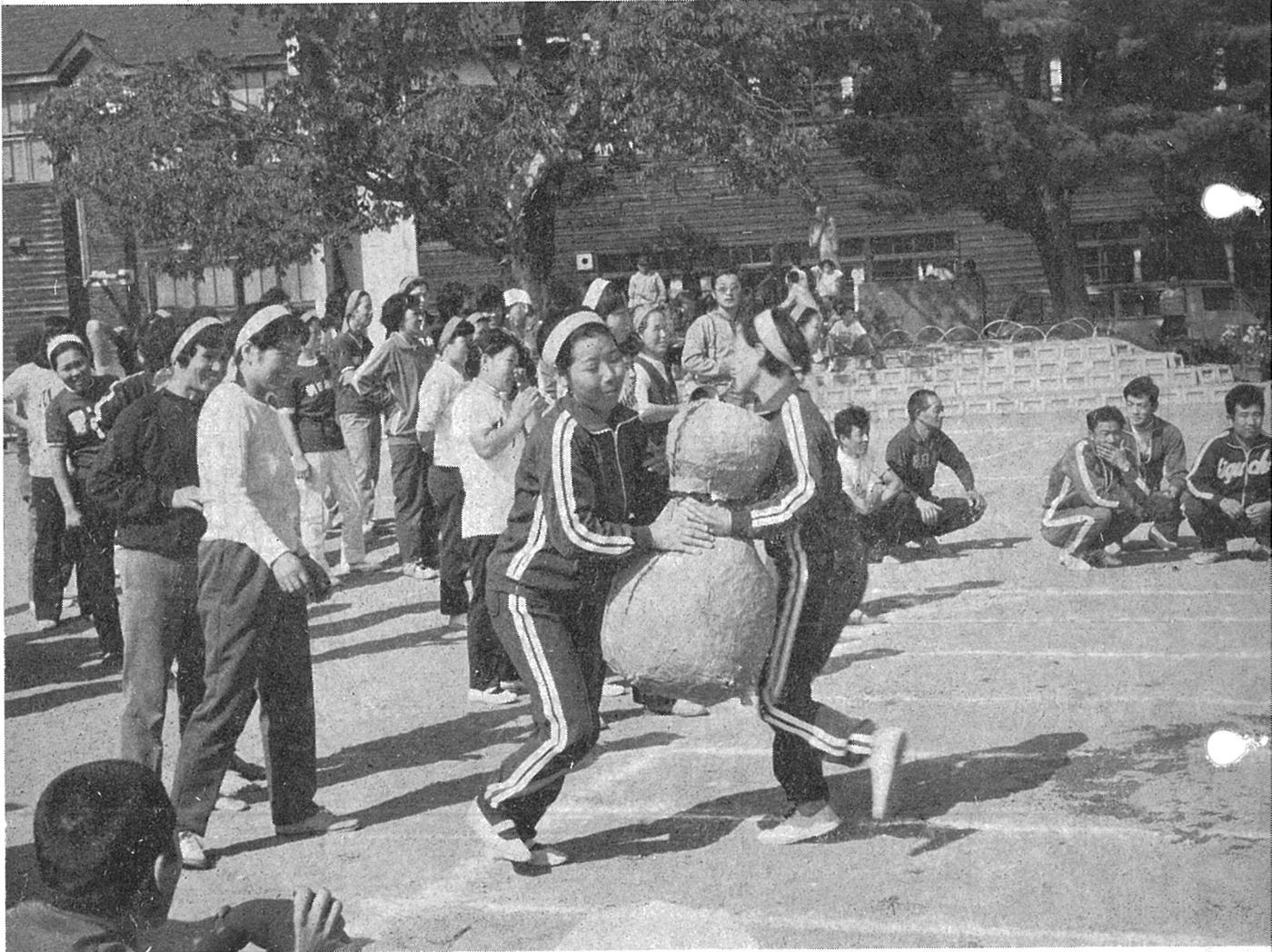


広報

のあさひ

No. 102

47 / 11



《 楽しい 運動 会 》

秋はスポーツの季節。さる10月10日の体育の日には、澄みきった秋空の下で労対協主催による運動会が、宮中グラウンドで行なわれました。800名を越える町内各事業所に働く人々が参加し、楽しい一日を過ごしました。この運動会は年々盛大になってお

り、今年はとくに青年たちの参加がめだっていたようです。これは農工一体化が急速に進みつつあることを物語っているとも言えるわけで、勤労者のための福利厚生面での充実が望まれそうです。

< 写真＝ダルマ送りのひとコマ >



農工一体化の提言

出稼ぎ問題をどう考える

ことしもまた出稼ぎのシーズンになりました。農作業もそこそこに、東京や関西方面に多くの人たちが仕事を求めて出て行かれました。しかし、反面には「出かせぎをなくすためにも企業の誘致をしてほしい」といった声も聞かれ、町でも農工一体化の施策を積極的にすすめていっています。

そこで今月は、出稼ぎの実態や企業誘致の状況などを紹介しながら、農工一体化における出稼ぎのあり方などについて考えてみようと思います。

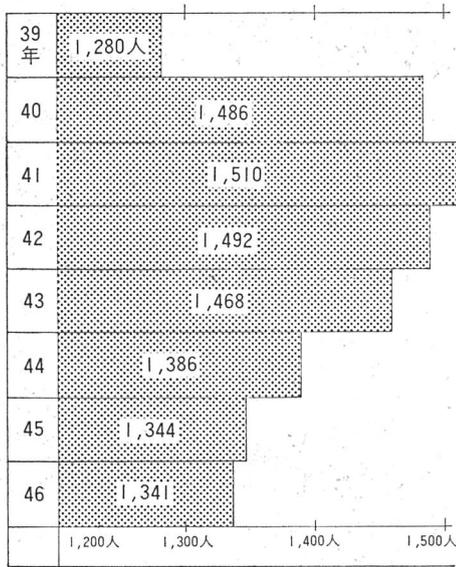
減ってきた

出稼ぎ者数

はじめに、朝日町における出稼者の実態はどうなっているのか探ってみようと思います。

町の出稼ぎ調査によりますと、第一図にもあるように、昨年の出稼ぎ者総数は千三百四十一人になっています。過去八年間の推移をみてみますと、三十九年が千二百八十三人で四十年四十年と増え続け、四十一年には千五百人を突破しています。しかし、四十一年の千五百十人

1図 出稼者の推移調べ



を頂点にして、その後は年々減ってきており、今年も千三百人を割

るだろうといった予想も出ています。また、最近の出稼ぎの内容を見ますと、生活費を稼いでくると言うよりも、自動車を購入するための資金や農機具購入の資金づくりといった人が多くなっています。それは、次の表一「経営規模別の出稼者数」によってもうなすけることです。と言うのは、昨年の出稼者総数千三百四十一人の内訳を見ますと、五十人から百、あるいは百から百五十の農家が

【出稼ぎは危険な仕事も少なくない。】

もつとも多くなっています。

つまり、中小規模の農家、あるいは第一種兼業農家といった層の出稼ぎが中心になっています。

また、一世帯で三人も出稼ぎしている例が見られるほか親子二人で、あるいは夫婦でといったように一世帯で二人以上の出稼ぎも少なくありません

出稼ぎ先の

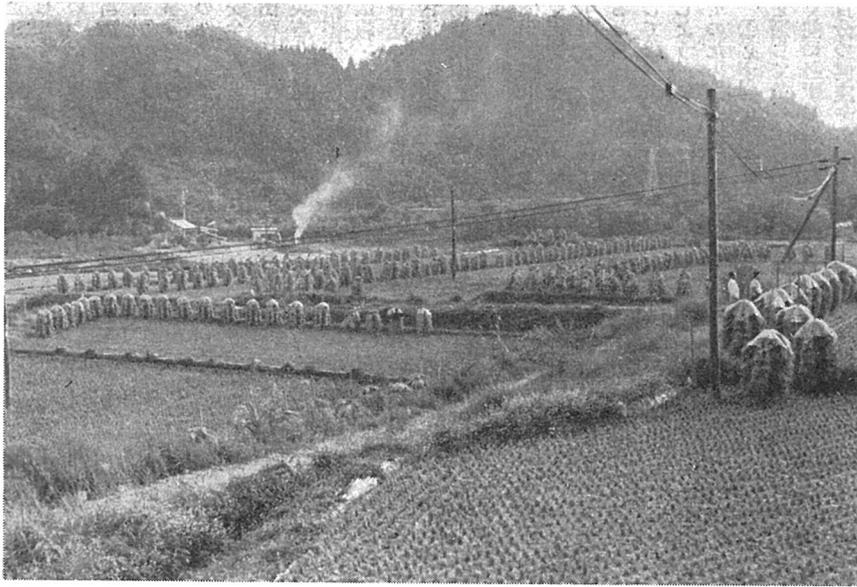
事故も多い

ところで、出稼者数は年々減ってきているというのですが、急激な減り方ではなく、あるていど恒久化してしまつた感もあります。春になると出稼ぎから帰ってきて農作業に従事する。そして、また

表1 経営規模別の出稼者数

規模別 地区別	出稼者数	経営規模別							
		30%未満	30%~50%	50%~100%	100%~150%	150%~200%	200%~250%	250%以上	
中部	501	37	79	217	131	20	5	0	12
西部	601	60	91	212	179	38	7	2	12
北部	239	5	20	77	90	31	10	1	5
合計	1,341	102	190	506	400	89	22	3	29





【企業の誘致も着々と進む。＝山形タイルが進出する カラクリ地内】

秋になると十分な冬仕度もできないままに出稼ぎに発って行く。親と子と、夫と妻とが離れ離れになつて長い冬の間を生活する、といったことを繰返しているわけである人は「遠洋漁業にくらべたら出稼ぎなんて、たいしたことないだろう。金は取れるし喜んで出稼ぎしている人だつてある。何も

出稼ぎをなくそうなどと考えることはないではないか。それに、出稼ぎ所得だつてバカにはならないんだ」と言っています。つまり、出稼ぎ大いに結構というわけですか。しかし、本当にそうだろうか。実際に出稼ぎする人自身の、あるいは留守をあずかる妻や子の立場に立つて考えても、本当にそう言

つた答えが出てくるでしょう。今年も出稼ぎに行く予定だと言う白倉部落の阿郎某さんは「喜んで出稼ぎに行くなどと言う人がおるだろうか。若い一人身のうちならともかく、妻や子どもを置いて一冬の間、慣れない仕事に働くこんな出稼ぎなんか誰だつてしたくはないと思う。しかし、家に居たつて適当な仕事があるわけでもないし、金を取らなければ食つて行けない。だから仕方なく出稼ぎせざるを得ないのではないか。町内に適当な仕事があれば、出稼ぎなどしては必要はないと思う。出稼ぎの賃金は高いが、地元では賃金が安い、と言つたこともあるが地元で仕事があれば多少安くとも出稼ぎしないで働きたいと思う。」と言っています。

半年もの長い間、妻や子と、家族と離ればなれの生活をしなければならぬ。金を取るためであればそうした生活も苦にはならないという人も、ひよつとしたらあるかも知れません。しかし、そのほとんどの人は出稼ぎしなくともよい生活をした。出稼ぎのない生活にしたいと願っているのです。とくに最近では、出稼ぎによって家庭の不和や子供の教育がおろそかになったり、出稼ぎに行つたまま帰らないといった蒸発や、賃金未払い、事故災害など多くの問題が生じています。

たとえば、昨年の出稼災害共済の資料をみても、出稼先における

事故発生件数は死亡事故二件、病気がけが二十件、計二十二件で、あわせて七十三万円の災害見舞金が出稼先で支払われています。さらに、毎年出稼ぎをしなければならぬという考えがあるために、秋の取り入れも十分にできなかったり、春の農作業がおくれたり、本業である農作業がおろそかになつていくことも見逃せません。農業だけで食えないから出稼ぎをする。出稼ぎするから農業もおろそかになり農業収入も伸びないといった悪循環をくり返していると言つてよいでしょう。

より安全な 出稼ぎを

ところで、町ではこうした出稼ぎ問題に対してどんな手だてをとっているのだろうか。そのいくつかをひろつて紹介してみようと思ひます。

まず、出稼ぎしなくともよいようにすると言つては、それにはいろいろな方法が考えられます。その一つは、農業の振興、規模拡大などによって農業所得の増大安全をはかつて、農業だけで食つて行けるようにして行くことですが、第二次農業構造改善事業によって規模を拡大したり、圃場の整備をすすめていくのもそうしたねらいがあるわけですね。

しかし、そうした手だてをやつてもなお農業だけでは食えない、農業専業でやれない人は当然出てくるでしょう。そうした農家をどうするか、ということですが、やはり、農業の片やら他産業からの収入を得る。企業等に勤めながら農業を片手間にやる、あるいは委託耕作にするといったように兼業の方法が考えられます。

それには、積極的な企業の誘致や地場産業の育成などによって、働く場所を開拓することが望まれます。

しかし、そうした施策をすすめたとしても、今すぐ効果が現われる、今すぐ出稼ぎしなくともよい生活にすることは不可能です。

出稼共済に 加入しよう

● 出稼共済に加入して
出稼共済の掛金は500円(6カ月)です。
● 掛金は500円(6カ月)です。
● 手続きは役場住民課で

農工一体化によって将来は出稼
ぎしなくともよいようにして行く
といった目標はよいとして、やは
り当面の対策も必要なわけだ。
当面対策として現在行なってい
る事業をひろってみると、①出稼
者のための健康診断の実施 ②よ
り安全な職場に働いてもらうため
の出稼相談所の開設 ③季節労働
者災害共済組合の加入促進および
支給事務 ④出稼先の事業所調査
⑤広報・新聞などの発送 ⑥出稼
者を送る会の開催による安全就労
の指導 ⑦出稼先への便りを出す
運動の推進といったことがあげら
れます。

これは先にもふれたように、今
すぐ出稼ぎはなくてはならない、やむを
得ず出稼ぎしなければならぬとい
するならば、より安全な職場に就
労して、健康で働いてもらうよう
にしようというわけです。

そのためには出稼ぎする人自身
が、①必ず安定所や町の出稼相談
所を通して就労する ②出稼ぎに
行く前に必ず健康診断を受ける
③自分の健康や体力・技能にあわ
せた仕事を選び、あまり無理な労
働はやらない ④出稼共済にも加
入し万一に備えておく ⑤出発前
に留守中の生活について家族の間
で十分話し合っておく といった
ようなことを守るようにすること
も大切になってきます。

【写真下】西舟渡又カズ力地内
は、松村製作所の誘致がきま
った。

企業誘致も

積極的に

ところで、町内に適当な仕事
があれば出稼ぎしなくともよい。出
稼ぎをなくすためにも積極的な企
業誘致を—と言った意見もありま
したが、町でも企業誘致には積極
的に取り組んでいます。

現在までに町内に誘致がきまっ
ている企業の状況を紹介しますと
次のようになります。

まず一つは宮宿地区の西原地内
にニクニ精機の進出がきまってい
ます。現在すでに二十五名の人た
ちが研修生として本社工場に就職
しており、四十九年から操業をは
じめる予定ですが、できれば四十
八年に工場を建設し直ちに操業に

入りたい計画のようです。

その次は、西舟渡のヌカ塚地内
に松村製作所が進出します。約一
万平方呎の土地を確保、すでに敷
地の造成工事に着手しており、直
ちに工場を建設し、来春早々から
操業を始める予定です。

また同じ西舟渡のカラクリ地内
には、山形タイルの誘致がきまり
これも四十八年春の操業開始をめ
ざしており、近く敷地造成等に入
ることになっています。

さらに、西舟渡の表地区には株
式会社マーク（計器類などの精密
機器製造）の進出がきまっており
これも四十八年春の操業開始をめ
ざして、近く工場の建設に入る予
定です。

一方大谷の高野原地内には、昭
電社（電気器具製造）の誘致がき
まり、これも四十八年春の操業を



めざして近く敷地造成に入る予定
です。

以上が現在までに確定した誘致
企業の内容です。この中で、ニク
ニは女子型（男子は二〜三割）、
松村は男子型、マークは女子型、
山形タイルは男子型、昭電社は女
子型といった状況です。五社あ
わせた操業時の従業員数は女子が百
四十名、男子が百名でいどとい
うことになりました。しかし、以前か
ら望まれていた男子型企業、そし
て中高年令層の働ける職場の確保
といった点では、まだまだ不十分
なわけで、男子中高年令層向きの
企業をどうやって誘致するかが、
今後の大きな課題と言えそうです。

労働力を

どう生かす

ところで、農工一体化の施策に
よって企業の誘致も順調にすすみ
つつあるわけですが、ここでまた
いくつかの問題が提起されていま
す。企業が来ても労働力の確保が
容易でないということ、千三百
名をこえる冬季出稼者の労働力を
どう生かすかということです。

企業で必要とする労働力は平均
して若年層の労働力であり、出稼
者の労働力は主に中高年令層なわ
けで、そうした問題は当然出てく
るかも知れません。しかし、出稼
者の中にも若年層がかなりいるわ
けで「確保が容易でない」という

便利な電話

の使い方



市外の電話番号

問合せは

『市外局番104』で

市外の電話番号の問い合わせ
方法が一部変わりました。

●全国のおもな50都市（県庁所
在都市および川崎市、堺市、北
九州市）の電話番号をお調べに
なるときは、全国どこからでも
「お問合せ先の市外局番104
4をダイヤルすれば直通でき
ます。

●お問合せ先が50都市以外の場
合、および公衆電話からの市外
電話番号お調べの場合は、いま
までどおり「局番なしの」105
でどうぞ。

●地域集団電話（農集）からの
お問合せはいままでどおり「局
番なしの」0105でどうぞ。

●市内電話番号および西村山一
円のお問合せはいままでどおり
「局番なしの」104でどうぞ
農集電話からは0104です。

☆電話番号調べは、まず、
電話帳で……

☆一度調べた電話番号は必ず
メモしておきましょう



【宮宿西原地内では、工場団地の造成がすすめられており、ニクニ精機の誘致がまわっている】

ほどではないはず。やはり、中途半ばな農業であっても、それを思い切ってやめて他に転職するという決断をできないでいる人が多いということのようです。また、転職したいが適当な職場がないといった人も少なくありません。

賃金が安くて生活できない、あるいはその企業に就職したいが企業の方で使ってくれない、といった問題などもあるようです。

やはり、今後の課題としても①転職したい人がスムーズに転職できるように営業指導の面でも配慮して行く ②農業をやりたい人には容易に規模拡大ができるような

指導や請負耕作の制度づくりをすすめて行く ③転職しやすいように転職希望者の職業訓練を町ですめる ④中高年層を雇用する企業の誘致につとめて行く、といった方策なども必要になっているようです。

さらに、この紙上でも何度か提起されておりますが、農工一体化の町づくりの一環として、あるいは過疎対策の一つとしても町営住宅や町営アパートの建設といったことも望まれています。

とくに、山間地の人たちには年間通勤するのが困難なために、転職したくとも転職できないでいるというのが実情です。そのためにどうせ転職するのなら寒河江や山形に行き行った方がよい、といったことにもなっています。

やはり、山間地の人たちにも容易に転職できるようにしてやる、あるいは少しでも過疎化をくいどめる手だてとしても、こう言った町営アパートの建設なども、真剣に取り上げられてよい問題のようです。

みんな

考えよう

以上「農工一体化への提言」というテーマで、出稼ぎの実態や出稼がない生活にして行くにはどうすればよいのか。企業誘致の状況、さらには出稼ぎ労働力をどう

生かして行けばよいのか、といったことについていくつかの問題を提起してみました。

出稼がない生活をするにはどうするか―それには農業の規模拡大や経営の改善によって農業だけで生活して行けるようにする、といった方法もあるだろうし、企業などに勤める片わら農業もやるといった兼業や農業とまきっぱりと止めて転職する、といったこともあるでしょう。

しかし、いずれにしても出稼がない生活にして行くかどうかは現在出稼を続けている人ひとりひとりの考え方、決断によってきまるわけです。もちろん、町の施策として企業の誘致をすすめることや、道路整備、町営住宅の建設などをすすめる必要もあるでしょう。しかし、毎年千三百人をこえる出稼者数は、あるていど恒久化しつつあり「出稼さえすれば金になる」といった安易な考えで出稼の苦痛も、出稼によって生ずる様々な問題も意識しなくなっている、ということはないだろうか。出稼ぎシーズンにあたってそういうことをもう一度考えあってみようではありませんか。

~~~~~  
出稼ぎ問題や企業誘致の問題でお気づきの点やご意見がありましたら、係までお寄せ下さい。

### 猟銃による

### 事故をなくそう

いよいよ狩猟のシーズン(十一月一日解禁)になりました。猟銃をもっている人のちよっとした不注意や、あやまちによって毎年悲惨な事故がおきています。つぎのようなことに注意されて、猟銃による事故をなくしましょう。

- 銃とタマは別々にして、カギのかかる安全な保管場所に厳重に保管しておく。
- 銃を手にしたら、まずタマが込められていないかどうかをよく確かめる。
- 許可を受けていない方や、子どもには絶対に銃を貸したり手をふれさせたりしない。
- 銃を持ち運びする時は、必ずタマを確めてからケースに入れる。
- 発射するときは、落ちついて獲物であるかをよく確かめてから発射する。
- 見通しのきかないヤブや雑木林、またはタマがはね返ってくるような岩山等に向けて発射しない。
- ことしすでに猟銃による事故が何件か発生しています。みんな注意して、事故を未然に防ぎましょう。

# 佐く者の祭典 労対協運動会盛大に



【月光仮面も応援団に加わって、はなやかな応援合戦】



【参加者五十名で熱戦が展開された。男子千五百米競走】





◆さる10月10日の宮中グラウンドは、働く者の祭典にふさわしく町内の働く若者たちの熱気にあふれていた。応援合戦もはなやかにくりひろげられ、家族づれで一日運動会を楽しむ風景が目についた。

←今日はお巡りさんも表彰式のお手伝い。自らの賞品も贈られた。

✓女子のビール飲み競争。女性上位などと言うが、まったくすばらしい飲みっぷり……。

↓あめ食い競争。粉の中にあるアメを口先でついばむ。しかしひどいよ？にわとりじゃないですからね。



# 教育 レポート

## 社会体育を振興せよ

### 町ぐるみで健康づくりを

私達の真の幸福は、健康であることです。また地域社会においても、地区民全員が健全な身体であるときに、その地域の発展が生みだされてくるものです。今回は、特に健康維持に連なる社会体育の振興策をみなさんと一緒に考えてゆこうと思います。

#### 強化望まれる

#### 指導体制

社会体育を推進してゆくために最初に考えなければならないのは指導者の養成ということであります。現在、朝日町には、七名の体育指導員がおります。この指導員は、単なる一種目のみの指導にあたるのではなく、朝日町にある団体(体育協会等)、クラブ(マラソンクラブ等)、サークル等の育成を行政的に計ってゆくものであります。ここには、常に町社会体育行政と綿密な連携をとり、施設の整備、大会事業の開催、又各種目の指導者の養成を総合的に考えてゆかなければなりません。

一方、朝日町には体育協会が、結成されておりますが、これは、一団体として考えるべきものであります。

現在、この体育協会には、剣道・柔道・卓球、野球・釣友・籠球・羽球・バレー・山岳・陸上・将棋・囲碁・ダンスと十三の運動部によって結成されております。

各部から二、三名の理事が、推せんされておられ、この理事の方々が、その部の専門的な指導にあたって、おられるわけです。

例えば、野球部であれば、年間をおして、審判員の養成ということ、講習会の開催をしたり、講習会を終了した人には、審判員の資格を与え、町大会の審判、又町外での大会の審判等に派遣をしその分野における、直接的な指導にあたってはいるものです。

また町内各地にスポーツ少年団が結成されているわけですが、その直接的な指導にも従事しております。

しかし、こうした直接的な指導に大きな期待を寄せている町民に対し、充分に答えられない現状を考えたとき、この指導体制に対して根本的な検討を要するものと考えられます。

これからは、体育指導員と体育協会理事の任務の明確化と共に、若き指導者の養成が必要であります。

#### 足りない

#### 体育施設

次に社会体育を振興させてゆくのに欠くことのできない条件として、施設・設備の充実ということがあげられます。

みなさん周知のことと思いますが、朝日町に社会体育施設が皆無の状態であることは、全く残念な

【スポーツ熱も高まっており、町民グラウンドの建設をといった声も聞かれるようになってはいる】

ことです。

折角町内の青年・若妻・婦人の方々が、スポーツに親しもうとしても、用具はないし、場所もないのでは、どうしようもありません。しかし、設備・施設がないからといって、私達は、この問題を看過することはできません。

数年来この問題に対し町では、いろいろ検討してきているわけですが、学校開放ということで学校管理者と話し合いを進めてまいりました。

その結果、学校使用の上では町内の校長先生からは深い理解をいただいているわけです。

しかし、折角の理解を得た学校開放でも、利用者側からみても、

管理者からみても、多くの問題を含んでいる現状です。

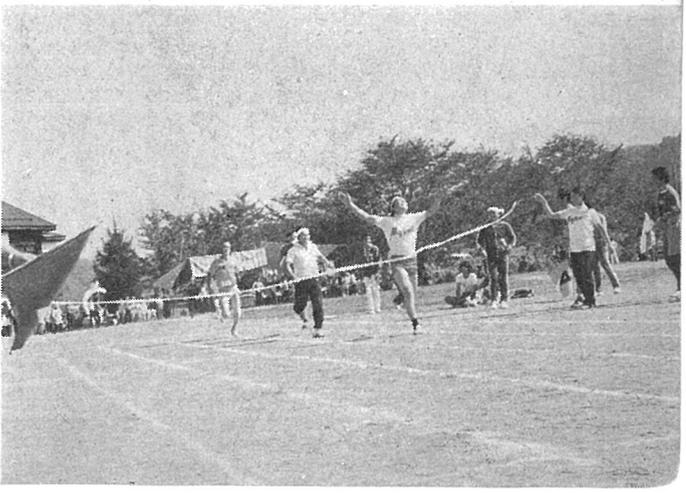
ということ、学校は、学校教育の場であるということ、

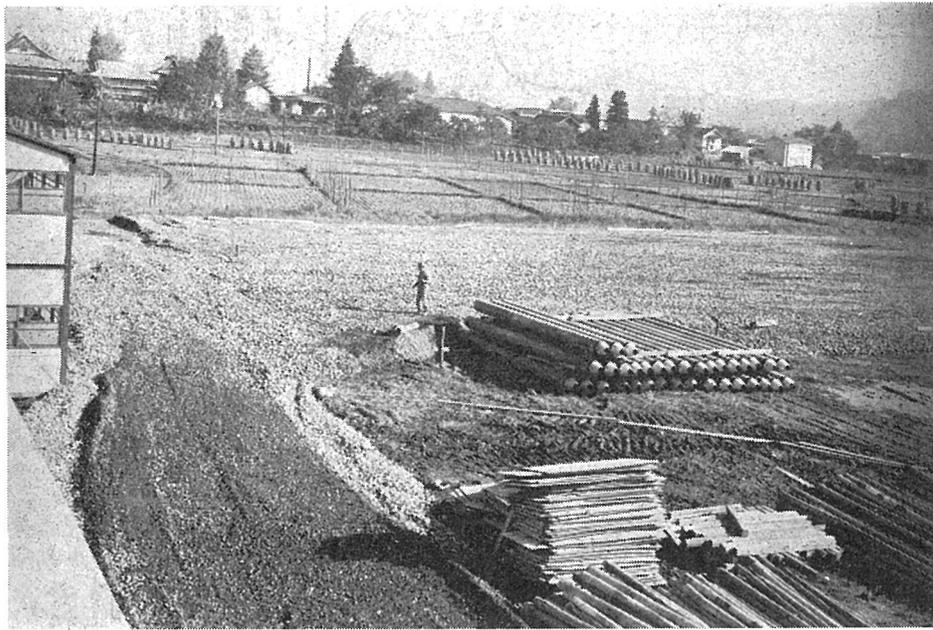
具体的問題としては、一般社会人が、学校借用する場合の借用手続きの問題、借用時間の制限、設備の不足等……。

学校という施設は、決して一般社会人が利用する社会体育の施設ではないということです。

現代において、学校開放に依存しなければならぬ社会体育行政は、もはや時代に逆行してゆくものと言っても過言ではないものです。

幸にして、来春町民体育館が、完成される運びとなったことは、





【開発センター裏側に町民体育館の建設がすすめられている】

町民こそっての喜びであり、社会体育振興のひとつの基点となつたわけだ。

### すすめたい

### クラブの育成

また最近、各地において、自然にしたしむスポーツ活動が、さかんになってきております。例えば、スキー・登山・海水浴・オリエンテーリング等、家族そろって楽しめるスポーツです。町の振興計画をみても、こうし

た自然の施設・設備の充実がうたわれております。スキー場の開発・整備、将来学校統合による敷地利用として、朝日大レクリエーション施設の前進基地として、大いに期待されております。こうした大規模構想による施設・設備が充実すれば、スポーツ少年団、ボーイスカウト、その他の団体の合宿訓練の場として活用されることは必至であります。ここで、冒頭に書いた、町民全員の健康と町発展を考えた場合、一人一人が社会体育へ積極的に参加しなければならぬということになります。町内で開催されている各種大会、事業になかなか個人個人としては参加しにくいものです。そこで愛好者同志・友人同志・あるいは青年・若妻・婦人同志でグループを結成し、機会あるごとに参加されるような意識が必要です。これは、最近言われている、「スポーツクラブ」の結成ということにつながることです。以上断片的に、町社会体育の振興を考えてみましたが、朝日町の地域性を考え、第一に、指導者の養成、第二に、施設・設備の充実第三に、一人だけの活動ではなく組織・グループを持つての活動と考えられます。つまり、グループの育成ということです。このように三点を大きな課題としてかかげましたが、まとめとして、次にいくつかの具体的な問題

を提起してみたいと思います。指導者の養成では確かに体協などを中心とした行政的な立場からの指導体制の強化、は必要でしょう。しかし、愛好者という民間ベースの指導者を育てるといったことが、更に必要に思われます。また施設の面では、町民グラウンドの設置は当然ですし、町民野球場、町民スキー場、あるいはハイキングコースの設置、オリエンテリングコースの設置といったことも、これからの施設、設備の充実の中で考えて行きたいものです。

三つめのグループの育成では、やはり職場におけるグループの育成や種目グループの育成といったこともさらに進める必要があるだろうし、一人でも多くの町民が参加できるような各種大会を計画することも必要に思われます。しかし、何と言っても大切なことは、町民一人一人が体育に親しむことであり、健康をつくるために自ら体育をやるうとする考え方がです。

その意味でも、健康づくりに果たす体育の役割というものを、もう一度考えてみたいものです。

### 町職員募集

町では一般事務職員若干名を募集しています。希望者は11月30日まで役場管理課へ申込みください。来春高校卒業見込以上25歳までの方

### 義務づけられた

### 初心者マーク

十一月一日から道路交通法が改正され、普通免許を受けてから一年にならない運転者の方は自動車運転する際に車に初心者マークをつけなければならぬとなりました。

マークをつける位置は、自動車前面は金属板のものをナンバープレートの左側、後面は乗用車の場合は後面ガラスの向って左側の下方(運転席の反対側)貨物車は、後面ボデー部分の右側です。

もしこのマークをつけずに運転すると二千元の反則金がとられます。また、その他の運転者は、初心者マークをつけた車が走行している場合、無理な割り込みや追突されるような停車をした場合は、大型車四千元、普通車三千元、原付車二千元の反則金がとられます。

### 初心者マーク

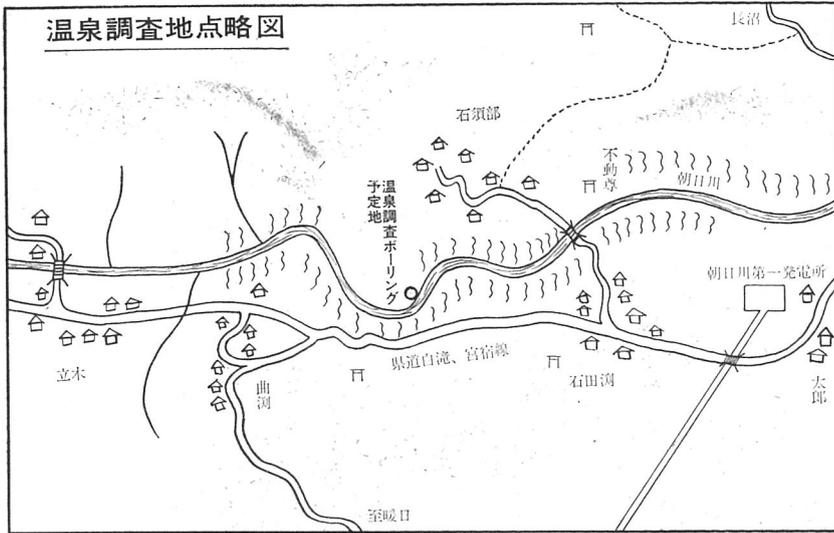


# 温泉開発に着手

## 石須部地区内でボーリング

朝日町の特産である豊かな自然環境を生かした開発、あるいは産業に結びついた観光の開発が叫ばれていますが、町では、温泉の

開発に本格的に着手することになりました。これは、石須部地区内の朝日川岸に昔から湧出ている塩湯を、温泉として利用しようというものです。塩湯の開発については、西部地区の二期対策構想の中でも計画されており「できるだけ早く開発をすすめてほしい」といった地区民からの要望も出されています。



そうしたこともあって、町では専門家に地質などの調査をしてもらう一方、温泉をどう利用して行くかといった開発の方向についても、コンサルタントに依頼

## 老人大学開く

さる十月八日、朝日町の老人大学が開発センターで開かれました。この老人大学は、激しい世の中の変化に取り残されたいためにもお年寄りの方にも勉強してもらおうと、開かれたもので、当日は五百名近いお年寄りたちが出席しました。午前中は県社会福祉協議会の鏡先生の講演（老後を楽しく暮らすために）を聞き、午後はアトラクションとして、町の青年たちでつくっている演劇グループ「どろんこの会」による「シガマの嫁っこ」の演劇を観覧、楽しいひとときを



【演劇を楽しむ老人たち】

## 宮中チームが優勝

### 三中学駅伝大会

望」という答えが出されており、ボーリングの結果が待たれていません。開発の方向については、まだコンサルタントの結果が出ていませんが、今までの経過から「単に塩湯として冷泉のまま利用するのではなく、ボーリングなどの調査を行なって、立派な温泉として開発すべきでないか」といった方向が打ち出されています。ボーリングの方は、近く業者に発注して、十一月の十日頃から工事に着手、十二月末頃までに二百米のボーリング調査を行なうことになっています。このボーリングによって、果たして温泉が出るかという点ですが、今までの調査では「非常に有望」でした。



②西中A（時間二六分二八秒）  
③大谷A（時間二六分四九秒）  
【優勝した宮中チーム】

## 宮中チーム

### 郡大会でも優勝

さる十月二十二日、寒河江市で行なわれた西郡中学校ロードレース大会で、宮宿中学校チームが優勝をかざりました。宮中チームは、先に行なわれた町内三中学駅伝でも優勝しており、こんどの郡大会優勝と、すばらしい活躍をみせました。成績次のとおり

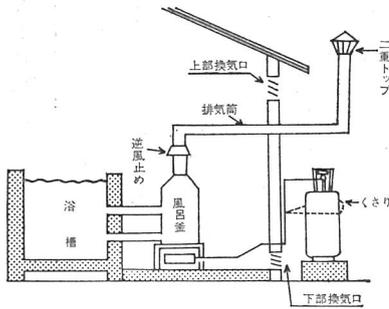
- ① 宮中チーム (52分45秒)
  - ② 西中チーム (53分26秒)
- 個人
- ① 菅井 正彦 (宮中)
  - ② 佐藤 吉範 (西中)

# ガス風呂の事故を防ぐために！

十一月五日からは秋の火災予防運動です。これからは火気使用が多くなりますので、お互いに注意して火災を未然に防ぎたいものです。

とくに、最近プロパンガスの風呂場における事故も多く発生しており、県内でも今年六月以降七件（死亡一、火傷七）発生しています。

ガス風呂の事故を防ぐためには①先づバーナの取扱いに熟練すること。②風呂場には法で定められる基準に合った換気孔（下部と上部）と煙とつを必ずつけることが大切です。



## ◆ガス風呂

- (1) 通気、換気に十分気をつけること。
- (2) 風呂釜は、特に着火を確認すること。
- (3) 立消えの場合には、漏れたガスを完全に追い出すまで着火しないこと。
- (4) 着火したままでの入浴はしないこと。

ガス風呂は着火しやすいものですが、途中で消えることも少なくありません。着火を十分確かめることと、時々見廻ること、それに着火したまま外出等はしないことです。

ガス風呂を沸かすためには、想像以上の多量の空気が必要です。換気孔と煙とつについていない風呂場は、すぐ改善して下さい。また、家屋を新しく建てる場合には、設計の段階でガス風呂場が基準に適合するかどうかを、確認いたしましたしよ。

## 寸感

みち第三号講座欄に「性格は育つもの」として人間の性格は先天的なものでなく、周囲の接し方にあるとし、「三ツ児の魂百まで」では、親の責任の重大さを説いている。全く同感である。以前こんなことを聞いたことが、今も鮮かに心にやきついている。

子どもに「親孝行をしろ」とか「そんなことをしてはいけない」などと口やかましく言うことはない。

親自身が身をもってこれをやれば、子供は自然にそのとおりになるものだ。子供に親孝行をやかましく言いがら、姑さんや年寄りに変な接し方をしたのは、ただ言うだけで何もならない。身をもって行動で覚えさせるのだ。子供は言われたこと

には反抗したがが周囲でやっていることはすぐ真似たがるものだ、と言っておられたことである。

また婦人矯風会の方であったが、四才になる女の孫がおやつにもらったビニール袋入れの菓子を食べるのに、口でその袋を開けようとして見るのを見て、「〇ちゃん、お口でなんかするんじやありませんよ。お婆ちゃんが開けてあげましょう。」と言ったら、「ママもこうやるんだよ」との返事が返ってきた。

親の日常の動きを子供はよく見ているものだ。子供の教育には親の日常の行動がどんなに大切なものか、の例題としてテレビで話していたことなどもあった。

近頃、二言目には「今の若い者は」とよく言われる言葉であるが、若い者の現象だけを責め

るわけには行かない。大学の設置者が、一人の生徒もいない附属高校を教師および生徒も従前どおりいて、正常に運営しているようにごまかして国と県から金を受取っていたり自分の子供に生命保険をつけ友人に殺させて保険金を搾取したり、自分の欲のためには周囲はどうなるうとお構いなし。

自然を守れ、環境を守れと大声で叫びながら自分はやりたいことをやっている。本誌九月号でもふれたが、公害は一億国民総被害のようになっていて、総被害者でもあるような社会環境で、若い者にだけ清純さと公德心を求めるのはあまり虫がよすぎると思われる。

やっぱり他に要求するだけが現在の世相なのか。  
(北風生)

## 特別児童扶養手当 障害範囲が 拡大される

身体に重度の障害をもつ児童やちえおくれの児童を養育している方には、国から特別児童扶養手当が支給されます。

そして今回法律が一部改正されて、今まで該当しなかった内科的疾患による身体の障害や、精神に障害をもつ児童の養育者にも支給

されることになりました。この手当は、養育者が認定請求することによって支給されるものですが、該当すると思われる方は印鑑をご持参のうえ、住民課の年金係で手続きをしてください。

なお、今回拡大された障害は次のとおりですが、その程度は今までの障害者手帳一級及び二級程度の障害をもつ児童や重度の精神薄弱の児童と同じに、日常生活において常時介護を必要とするてい

どです。  
内科的疾患による身体の障害  
結核性疾患・呼吸器の機能障害  
心機能障害・腎臓疾患・肝臓疾患  
患・血圧疾患  
精神の障害

精神分裂病、そううつ病・非定型精神・てんかん・中毒性精神病・器質性精神病・早期幼年自閉症・精神薄弱  
身体機能の障害もしくは病状、または精神の障害の重複する障害

生活メモ

しもやけの予防

いよいよ寒い冬です。皮膚の弱い人は、寒くなると皮膚がカサカサになり、寒さにさらされた部分がかゆくなって、ちよつとした刺激にも敏感になってきます。

とくに、冬は炊事や洗濯でいつも皮膚の表面の脂肪が少なくなり、油断すると手足にしもやけやヒビ・アカギレができます。

しもやけを予防するには①皮膚を直接寒気にあてないようにすること。②水仕事の場合は、手早く仕上げていつまでも水に手をつけておかないこと。③ぬれた手足はそのたびごとに乾いた布でよく拭きとって、ぬれたままで火で温めたり、風にさらしたりしない。④手足をよくマッサージし、常に乾そうさせておくこと。皮膚を強くするには、常に適当

な運動でからだ自体をきたえておくことが大切です。乾布マサツや寝る時に冷たい寝巻に着がえる習慣をつけるなどして、皮膚を刺激して鍛錬しておきましょう。

戸籍の窓

出生

昭和47年10月1日～10月31日まで  
 部 落 出生者氏名 父名 続柄  
 大谷六 長岡 豊 勇吉 二男  
 大谷六 小野康仁 長左衛門長男  
 栄町 松田 陽子 藤志雄長女  
 栄町 鈴木 弘二 誠一 二男

死亡

昭和47年10月1日～10月31日まで  
 部 落 死亡者氏名 年齢 世帯主  
 送 橋 渡辺 作蔵 62 彦春  
 古 旗 清野 チマ 73 庄一郎  
 大谷三 長岡よしの 64 俊晴  
 大暮山 川口直太郎 85 清治  
 常盤 阿部 三太 83 宗一郎

話しの銘

朝日分校生から  
 現金寄贈される

このほど左沢高校朝日分校生徒会のみなさんから「恵まれない人たちのために使ってください」といって、現金四

朝日分校生から現金寄贈される

千二百三十五円が寄贈されました。町では生徒さんたちの温かい善意に感謝しており、社会福祉協議会に贈り有効に使わせていただくことになりました。

西部保育園児からも

また、西部保育園の園児（四歳以上）からも、共同募金会へと現金七百九十三円が寄贈されています。

五円玉どっさり

太郎の長岡さんから

このほど、太郎の長岡さまよさんから五円硬化をどっさり、金額にして千五百二十五円を「身体の不自由な子どもたちのためにでも使ってください」といって寄贈されました。長岡さんは、毎年こうして五円玉を寄贈なされているもので、町では長岡さんの温かい贈りものに心から感謝しています。

婚姻

昭和47年10月1日～10月31日まで  
 送 橋 鈴木胞衣吉 88 庄松  
 松 程 渡辺つや子 47 喜八郎  
 松 原 佐竹 庄吉 78 秀夫  
 栗木沢 安藤 耕一 74 勇八  
 栗木沢 白田みちよ 88 与七  
 栗木沢 佐久間兵太郎 67 兵一  
 小 原 菅井源之助 83 源太郎  
 下 芦 岡崎 文七 75 文雄  
 西 町 佐藤クニエ 67 彦治



前田 沢 寒河江  
 菅井 博 阿部美千子  
 大隅 勇雄 鈴木 秀子  
 長岡 勇雄 今平  
 常盤 建一 海野千代子  
 宮本 建一 阿部すみゑ  
 八ッ沼 朝男 内藤ともゑ  
 白田 朝男 西舟渡  
 大谷一 勝雄 大江町  
 芳月 勝雄 阿部すみゑ  
 西舟渡 渡辺 喜和  
 富樫 莞爾 下芦沢  
 助の巻 敏明 原田とも子  
 堀 敏明 大谷二  
 中 沢 邦行 五十嵐浪子  
 白田 邦行 河北町  
 大谷六 成原 芳一 鈴木千代子  
 新 宿 宿 宿  
 昭和47年10月1日～10月31日まで

渡辺 竹治 石山ユキ子  
 大谷四 山形市  
 田村 貞一 近野 孝子  
 沼向 太郎三  
 菅井 正則 多田 明美  
 大暮山 阿部 清一 寒河江市  
 菅井 正治 中村 孝子  
 大谷五 白田 新吉 阿部 妙子  
 下芦沢 立木  
 土屋 都治 阿部よつ子  
 石須部 大江町  
 長岡 孝一 小野みよ子

編集室より

◎広報一九二号おとどけします。今月は出稼ぎ問題をとりあげてみました。出稼ぎをなくすにはどうすればよいか。農工一体化をすすめることとあわせて、みんなで考えてほしいものです。